

北海道建設新聞

2017年(平成29年)11月16日(木曜日) 工事・総合 (4)

方明



温度差や風圧を利用する換気口で発明協会
会長賞に輝いたグッドマン(札幌)社長

さいとう たけお
齋藤 武夫さん

コストも低く、世界に通用する技術

「グッドマン換気口」で2017年度発明協会会長賞を受賞した。「イニシャルコストもランニングコストも低く、さまざまな地域で採用が広がっている。多くの人に使ってもらい、健康になってもらえれば」と顔をほころばせる。グッドマン換気口は温度差や風圧などによって発生する換気作用を利用する商品。室内上部に熱気がこもるのを防ぐほか、対向して設置することで外気圧による通風が得られる効果がある。ダウンドラフト(冷気が室内を降下する現象)を防ぐ構造も特長だ。住宅や商業施設の換気トラブル

ひと 2017

に関心があつた。それまで勤めていた会社を辞め1985年に札幌でグッドマンを設立。89年にグッドマン換気口の開発に着手した。北海道立総合研究機構北方建築総合研究所の協力も得て、知見を重ねてきた。今では道内だけでなく道外でも採用実績を伸ばす。「沖縄では暑さ対策で活躍し、東日本大震災の被災地では、仮設住宅の結露の軽減にも役立った」。近年は清潔な空気が求められる野菜工場や、臭いがかもりやすい高齢者施設での導入も増えている。

15日から東京都内で開かれているジャパンホームショー2017に出展中。「ロシアからも採用したいという問い合わせがある。国内だけでなく世界に通用する技術だと思う」と自信を見せる。「今は再生可能エネルギーが注目されているが、グッドマン換気口が利用するような自然の力も非常に有用。多様なエネルギーを組み合わせたばらばらに面白いことができるのでは」と好奇心は尽きない。北海学園大卒。73歳。(鳴)